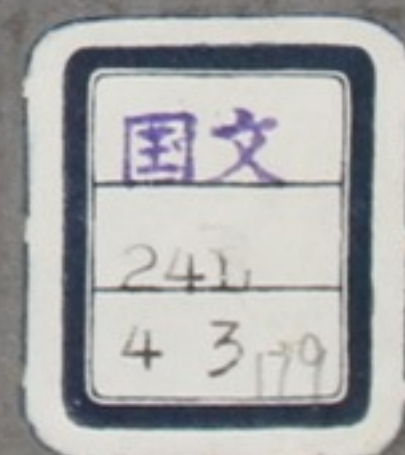
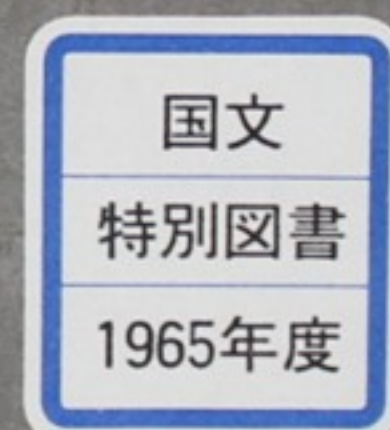




国文
24L
43

草子と香茶

◎式亭主人姓と菊地名と太輔字と父徳堂と遊戯堂といふ樓と
 暖嚙哩樓といふ一も四季山人といふ一も遊戯道人といふ一も
 おつゝ一時の戯号と世譽と之馬子といふ一も名氏といふ一も
 やと、同じく、詳小巻末にありと主人時中二十二歳滑臺の道に
 走つて、意馬漸くともまうと一箇の老翁實徳
 といふ、頃日勸懲の小説と着て推考或善道と係彼管仲が
 老馬をいふやうで、式亭此老翁といふやういふべし。

江戸書舗 西宮春松軒謹白

副刻書目録

- 全龍山米饅頭米仇討
- 半時里系流小結結草若打殺
- 復讐大神塚
- 真鳥塚換生物語
- 歌祭文雲助由來

139031
40.8.26





山東京傳作戊辰新刻

濡髮放駒全傳

位俠雙蜚

全部九冊發兌



歌川豊國画甘泉堂梓

西

位俠雙蜚全傳小引

江戸芝神明前和泉屋市兵衛版

康安貞治の頃と云。吾妻うけたまは山崎と云。或ハ幡山崎
南与兵衛のおむ。我子ゆめ金とせと云。或ハ幡山崎
遠き昔とある。その跡と云。寛延の頃竹田出雲が作りたる。淨瑠理
節狐種と云。菜の花の黄表紙と云。都是寓言なり。莊子が
たとふの二ツ蝶。人お折る。牆のむの。花おやうと云。吾妻う顔
も見忘れたる。駕籠の座兵衛が。親子再会のむし。蝶ハ菜種
の阿字十方。菜種ハ蝶の三世仏。迷入暗悟ハ月三世因果を引ぬの
あけたる迷悟と云。十字兵衛が母の談義話ゆれ集て。春雨の
柳濡髪おつる。放駒。俄然と云。覺則邊ニ然として。蝶ニの
夢の浮世狐曉と云。畢竟筆のむと云。なりけり。

文化四年丁卯夏六月
稿成同五年戊辰發兌

山東京傳述





侠客
客
放駒
長吉



角力取
濡髪蝶五郎

角力取
あふり
秋の錦
系つて
あふり
胡蝶

西曹相對力角力
餘黨競誇強敵強



山崎
余
五郎



梁帝國中偏得意
莊周夢裏本无心

○神遊君吾妻

玉ふり
玉ふり
玉ふり
玉ふり
玉ふり



蝶吉姉 於関

荆樹有
花兄弟
梁橋林
无実子
孫忙

人うと
雄子とさびしやのあ

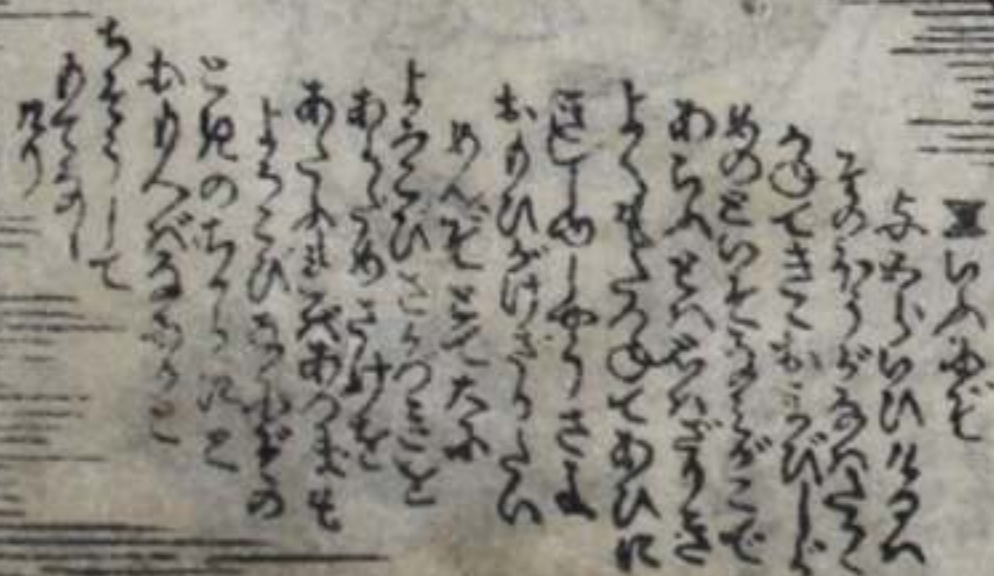


南方十字兵衛

人生芳機
有千載
在古榮古
无百年

水田の
松手も
あつらう



[illegible]

つれづれと
ふさふさと
さんそりや
のれぬ
ごんて
ごん



1844

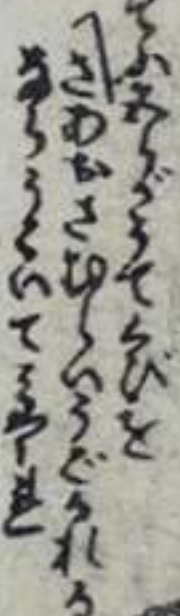
彩翅

[illegible]

かきこゝろで
いふやうに
あつて



平岡
堂左衛門



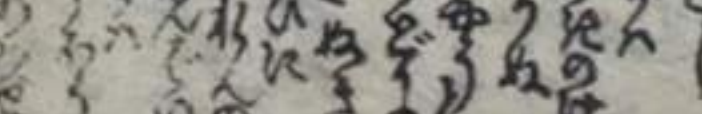
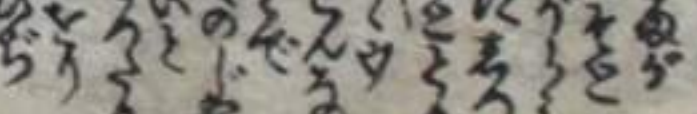
ともいふあれごぬのききと
 けつらうてちぬの肉の米屋
 希さんりんといふあてにあらが
 ちやうとく大甲たあまにや
 かこてそとろと父のさ
 ぶてさあうあひのおせ
 こいふにあんをさうせ
 かまのうらかこと
 ぶらてひあぬあ
 ぶられあぬあ
 あうけり○さてその
 と死をたあうにひ
 けつらぬてあて
 けつらにふあうのとやうの
 むちてさうさうのまへさ
 であうなんもささうが
 むんのてうてさうまに
 ばさあらんさぬと
 むらあてりじこあま
 ーゆといけれが
 おとがさうとさう
 めひつあさうひさ
 てさうてさうさん
 であうさうさうさ
 こでさうてさうさ
 あんきがさうさ
 のさうさうさ
 ともいふあれごぬのききと



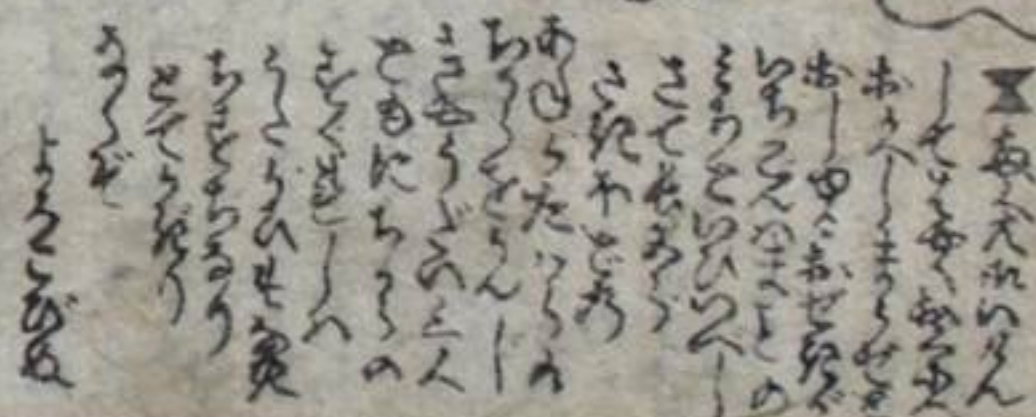
○久くふくまう
をきてあひあはしを
さどつげふふいどー

[illegible]

まへおれに
ていもぬれぬが
ふかやうなをさ
がし
にまろ
くさる
てや
こんど
ゆのよ
あつと
やうさ
うさびせり
わけひら
おこト
さぐにまんがん
ついでとてはのけ
それぢやうね
「オ、そと」中
ねわうちぢやう
りうじやうね
うぶひに
ゆれん
えん
さうやう
ね、ちやうど
ちやうど
ちやうど
ちやうど
ちやうど

[illegible]

「長あふあ
とけりあふあ」



そつちやともい
つがうたへらぬぞ

ききういふのまんの
つとむるまじい
おもひ
おもひ
おもひ

[illegible]





○京師自画さんあがきあり
○山東京山玉石綱中篆刺

○京師自画さんあがきあり
○山東京山玉石綱中篆刺



佐川子九郎

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a note, located at the bottom of the page.

そとく軍軍者かえりていへてのち
つゝこのもさへいなりといふの子や雪に曲
さのひいぐもあけきんせいののかと
ゆゑにふさうてうとまきとをのく
やうとといふやうへあれがとまきなり
おさてゆゑにふさうてうとまきなり
ひさうへとて二十町のやま
ちをりていへていへていへて
いとあてていへていへて
それとていへて
よふふがていへて
ちかちかといへて
なめていへて



わふさへんのか
ひきつきててを
やうなむすい
ちのめをよと
にのみぬこゝろ
こそかた
わふさへんのか
ひきつきててを
やうなむすい
ちのめをよと
にのみぬこゝろ
こそかた

[illegible]

[illegible]

ふれぬのかおひき
とてうらうらひき
竹かんらんせき
とてうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき



竹かんらんせき
とてうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき

ふれぬのかおひき
とてうらうらひき
竹かんらんせき
とてうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき



ふれぬのかおひき
とてうらうらひき
竹かんらんせき
とてうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき



ふれぬのかおひき
とてうらうらひき
竹かんらんせき
とてうらうらひき
あうらうらひき
あうらうらひき

[illegible]



A black and white woodblock print illustration of a woman in a kimono kneeling on a tatami floor, looking distressed. A lit candle is on a stand to her left, and a small box with a mirror and other items is on the floor to her right. A patterned chair is visible in the background.

[illegible]

This woodblock print illustration depicts a scene from a Japanese narrative. A woman, dressed in a patterned kimono, is seated on a tatami floor, looking down at a small object in her hands. A man, wearing a simple kimono, is lying on his back on the floor, looking up at her. In the background, a sword is mounted on a stand. There are bamboo branches and a bird visible through a window. The scene is surrounded by handwritten Japanese text in various locations.

[illegible]

七

[illegible]

A woodblock print illustration of a tea ceremony. A teapot sits on a small stand over a fire, with steam rising. A tray with two cups and a brush is in the foreground. The scene is set on a tatami floor.

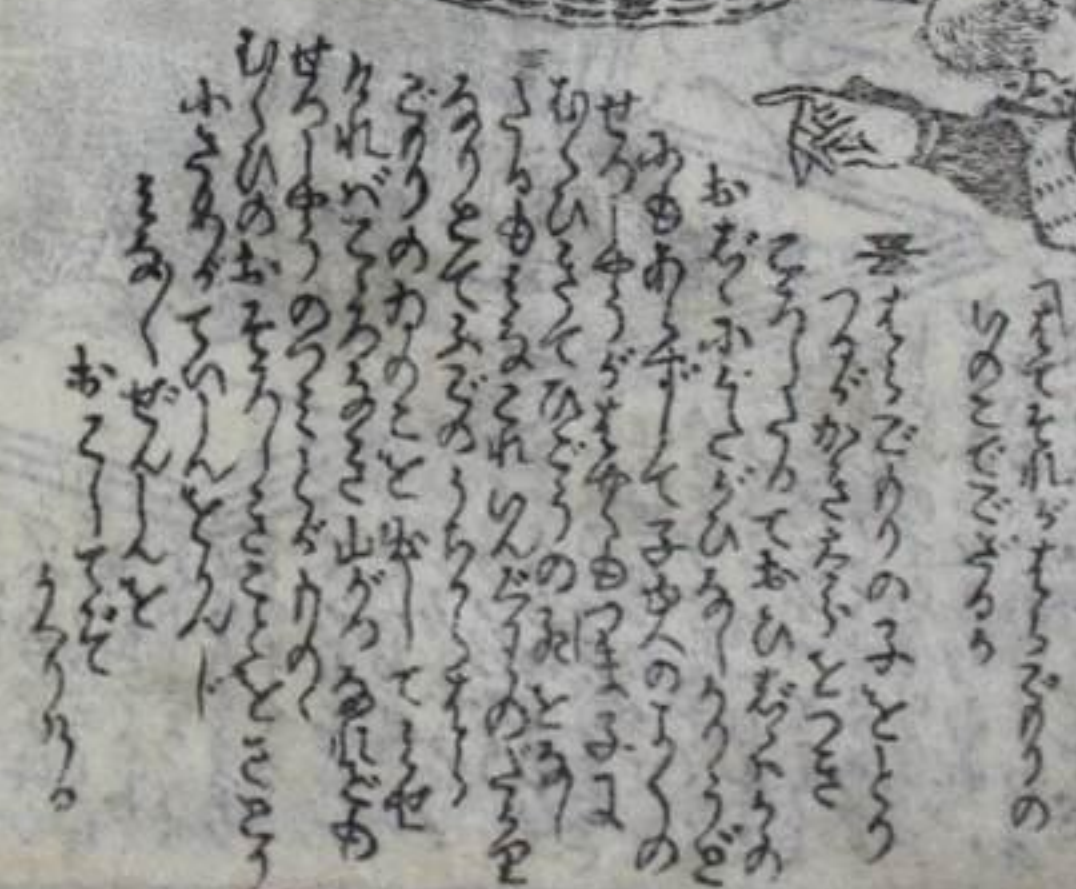
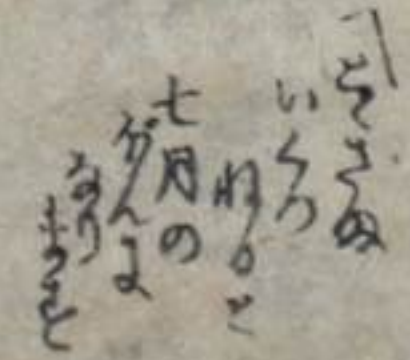
[illegible]

This woodblock print depicts a man in traditional Japanese attire, including a patterned kimono and a head covering, sitting on a rocky bank. He is holding a basket and looking across a wide river towards distant mountains. The scene is framed by a large tree on the left and a cloud on the right. Japanese text is visible in the upper right corner.

七四

[illegible]

司馬遷

[illegible][illegible]

[illegible]

This illustration depicts a figure in a highly expressive, contorted pose, characteristic of Edo-period dance or acrobatic performance. The figure is adorned with a large, striped garment that resembles wings or a large fan, which is spread out behind them. The figure's body is arched, with one leg extended forward and the other bent. The figure wears a headpiece or mask with a prominent, pointed element. The entire scene is surrounded by handwritten Japanese text in kuzushiji script, which appears to be a narrative or commentary related to the depicted action. The text is written in a fluid, cursive style, typical of the period.

[illegible]

らんどうばう移バゲんざう
かきあもあまふつちのまに
めいひていあそろ人ゆうーゆー
あしけげんはありえんつ
こまほとものさやんち
さんくのままさとくひて
ちがやくーこそていひ
くらやをあげまへとの
はんぞめのさいていづ
さてこころひいてあま
りせせんまんあつ
あまみさるづをぬぐ
おのち



うきやうのあまをえんきにあげおきしを年と
つれてにやにこそくすんきういそあいかいん
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと

うきやうのあまをえんきにあげおきしを年と
つれてにやにこそくすんきういそあいかいん
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと

うきやうのあまをえんきにあげおきしを年と
つれてにやにこそくすんきういそあいかいん
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと



うきやうのあまをえんきにあげおきしを年と
つれてにやにこそくすんきういそあいかいん
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと

うきやうのあまをえんきにあげおきしを年と
つれてにやにこそくすんきういそあいかいん
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと
いけのうきひえいふさかた山王にえんきと
くになひしあきさくくいのいこきとて
依りてふなりこのまねあきくわうと
ふりてふなりこのまねあきくわうと



[illegible][illegible]

A small illustration at the bottom left shows a foot wearing a traditional Japanese wooden clog shoe (getta). The foot is positioned as if stepping forward.

[illegible]



さそこのく日十はるが
つまこきとよかにや
あまのくにひたぬき
まやうだののあつと
さそこのく日十はるが
つまこきとよかにや
あまのくにひたぬき
まやうだののあつと

「さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな
さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな

「さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな
さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな

中
口上
上まじ丁
骨替者
三笑亭
可樂とせ
あんなの七い
さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな



あんなの七い
さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな
さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな

「さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな
さうさうさう
おとこやあんな
おもひやあんな





何れに由りては、
 何れに由りては、

あやだんのおきてに
かうふふのうら
のわきとやと
りばきせんより
なきさかての
いとぬのうちふて
やうとてきてて
もくつしとせんまへ
そちやあや
あやだんおあや
あやとやういめん
さやうとやの
なりのあひたふに
うぐとやういめん
さやうとやういめん

[illegible]

[illegible]

うつろふまにうへるゝらふ
 あづのまがうらうら
 もうたのけうは一紙の
 とさめのよりあつ
 かくてつゝふまのそと
 ねたがうつあつらん

日月の
 あつれ
 もと

ちんちん
 のん
 ちんちん
 のん
 ちんちん
 のん
 ちんちん
 のん



忠孝 貞節の人とて
うてあめくういふん
ささるめう天理と
うてのこころ

山豆おとし
うてぬ
うてぬ



豊國画

山東京傳作



文化戊辰新著繪草紙目錄

復讐談御菩薩池	敵討葛松原	相州矢倉澤仇討	敵孝行酒屋響奴菱	孝行娘妹脊仇討	歌討白鳥関	余和泉屋市
全部 九冊	全部 六冊	全部 六冊	全部 六冊	全部 六冊	全部 六冊	全部 六冊
山東京傳作	歌川豊國作	歌川豊國作	歌川豊國作	歌川豊國作	歌川豊國作	歌川豊國作

天
地
人
三
才
圖
說

卷
之
一
上
篇

天
地
人
三
才
圖
說